

ブリュナエンジンを復元

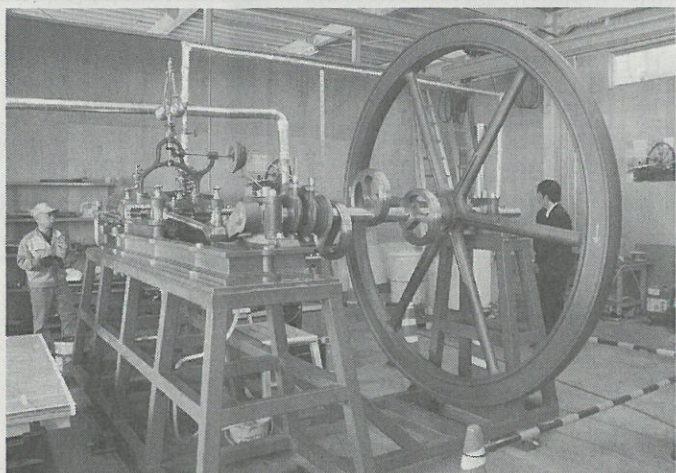
富岡の市議らが視察

製糸場の活用を検討

富岡商工会議所が中心となり復元したブリュナエンジンを2月22日、富岡市議会議員16人が視察した。

ブリュナエンジンとは、1872年の富岡製糸場開業時にフランス人技師、ポール・ブリュナが母国から輸入し、製糸場の動力源として50年間使われたもの。現在は、

富岡市議会議員16人が視察した。12年、「エンジンを復元させ、将来に残せるシンボルとして、地元を盛り上げよう」と、同商議所の呼び掛けで製作委員会(委員長・野口十九一、同商議所副会頭)を立ち上げ、蒸気を動力源とした実物大レプリカの製造

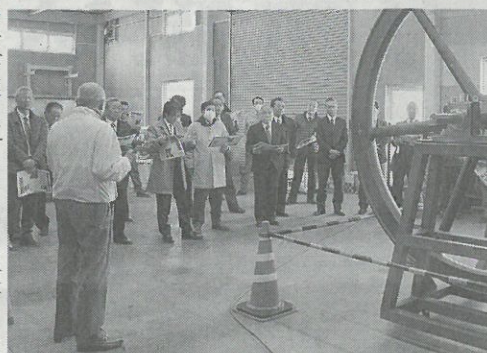


直径2.5mのはずみ車が特徴

博物館明治村(愛知県犬山市)で所蔵・展示されている。設計図が残っていないため、技術者が明治村を何度も訪問して、現物の外観から構造や部品の形を測定。300枚の設計図を書き上げ、約700

点の部品を製作、組立作業に当たった。忠実な再現にこだわり、バタフライバルブの機構や木材を使用した部品、牛の皮のベルトなどを現代の技術で再現した。14年には、動作確認のための5分の1のレプリカ版を作成。15年、製造に取り組み、12月17日に試運転が成功した。

視察に当たり野口委員長は、「このエンジンは富岡工業界のシンボルであり、38社が参加した苦労の結晶。地域で作ったことに価値がある。無事にできたことが喜ばしいが、それ以上に一丸となつて取り組んだプロセスを誇りに思う」と苦勞を振り返り、



視察団はエンジンの動きに見入った

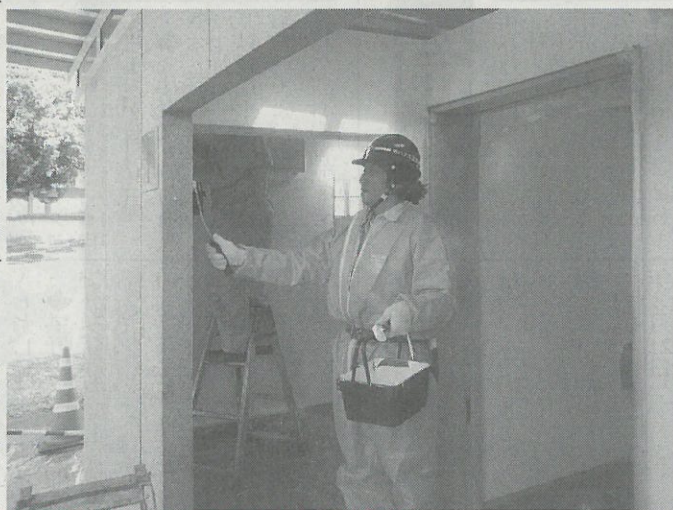
地域貢献ボランティア実施

前橋公園さちの池トイレなど

前橋塗装広告美術業組合

群馬県塗装看板協同組合(中嶋薫理事長)前橋

支部・前橋塗装広告美術業組合(品川豪組合長)は24日、前橋公園さちの池トイレなどで環境ボランティア活動を実施した。写真は、昨年実施した前橋公園さちの池トイレで行ったボランティア活動の様子。今年が2回目の開催と



前橋市に製造拠点を置く漬物を中心とした各種

「プレミアム味梅」発売

「乳酸菌入りうめぼし」も

新進

前橋支部加盟31社中20社が参加。山本龍前橋市長が来賓として参加した。当日は、午前9時〜午後3時にさちの池敷地

内の公衆トイレの内壁塗装、トンネル洗浄などを行った。塗料は環境対応型の漆喰塗料(関西ペイント製)で、トイレの臭気や細菌の汚染を防止できるといった。

食料品の製造・販売を手掛ける新進(本社・東京都、籠島忠作社長)は紀州南高梅を使用した「プレミアム味梅」を発売した。「味梅」シリーズ第4弾となる。現代の食卓のし好に合わせて、甘酸っぱい芳醇

見学会

を備え

照く10時 あす

一日に「甘楽さくらウォー」家ゆかりの城下町を巡「ファミリールコース」は街並「楽山園」や道の駅甘楽「資料館」や楽山園などの入